

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL <http://www.jaichi.jp> TEL(052)916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2014. 9. 10
No.1099

発行責任者 林 達也 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

第19回あいち 機関紙・宣伝学校

とき 10月4日(土)5日(日)
ところ 労働会館本館および東館



9月2日に行われた豊橋市職労の人勤学習会の様子

14 秋季 年末闘争

不当な賃下げ攻撃はね返そう

実質的な「賃下げ」となる2014年人事院勧告の狙いを学び、秋の賃金確定闘争へ怒りの声を上げようと、各単組で積極的に人勤学習会が開催されています。蒲郡市職、豊橋市職労の学習会の様子、参加者の声を取材しました。

「賃下げ人勤許すな」 学習会で怒りを組織

蒲郡市職

蒲郡市職は9月3日、県本部の伊藤英一書記次長を講師に執行委員会の中で学習会を開催しました。伊藤書記次長は「賃上げとは名ばかりの実質賃下げ人勤であり、許すことはできない」と、来年4月実施が狙われている「給与制度の総合的見直し」による全職員平均2%の賃下げを中心に、14人事院勧告に

ついて説明しました。参加者からは「職場では人も減らされギリギリの中で働いている。そこへまた賃下げとなつては堪らない」と怒りの声。山本委員長からも「4月の給与制度の総合的見直しに対して、みんなで反対の声を上げはね返そう」と呼びかけられました。



おきプロNEXTにも参加した石川雄策書記次長(蒲郡)

県内では、春日井市職労、瀬戸市職労、蟹江町職労、豊橋市職労、豊川市職労、碧南市職、武豊町職労などがすでに学習会を開

いて「上の世代の賃金が大きく下がり、あたかも若い世代は優遇されるかのよう

です。石川書記次長は、「給与制度の総合的見直し」につ

学ぶこと、知ってもらうことが大切。その上で組合員みんなが参加する組合活動をすすめたい」と決意を語ってくれました。



蒲郡市職は9月3日に人勤学習会を開催

同じ仕事で「なぜ？」 賃金に差がつけられる

豊橋市職労

豊橋市職労は9月2日、執行委員会の中で県本部の鈴木副委員長を講師とした、人勤学習会を開催。参加者からは怒りの声が多数寄せられました。その一部を紹介します。

「まだ賃金の仕組みが分かっていないので何とも言えないが、これから勉強し理解していきたい」(20代職員)

「地域手当について、豊橋が3%となっており、近隣他都市と異なるのはなぜなのか。同じように仕事をしているのに差が出るのは納得いかない」(20代職員)

「今回の勧告で2%の俸給表水準引き下げがあることは知らなかった。生涯で下げられる賃金の総額を考えると本当に困る」(30代職員)

「給料は上がると思ってきたのに…。子育てで日々の生活にもお金が足りなくなり、ここぞ下がるのはとても困る」(30代職員)

「本給が下がれば退職金にも響いてくる。一体どれだけ下がるのか心配」(30代職員)

「地域手当の根拠が納得できない。『同一労働同一賃金』『生計費原則』に反している」(30代職員)

「地域手当の根拠が納得できない。『同一労働同一賃金』『生計費原則』に反している」(30代職員)

知ると知らないのでは大違い 県本部「初めての賃金制度学習会」

県本部は9月6日、「初めての賃金制度学習会」を開催しました。学習会には、初任給や昇給・昇格の仕組みを学ば

うと、10単組から若手役員や組合員を中心に20人が参加しました。条例や規則の基本的な説明の後、さっそく自分の

市町の給料表に向かいます。初任給基準表でスタートの号級を確認し「1年で4号級アップしてこの金額。昇格したら次の級のどこに行くんだ

みんながまず 知ることが大切

「同じ公務の仕事に携わる人の賃金が働く場所が変わるのはおかしい」と語ってくれるのは、蒲郡市職の書記次長の石川雄策さん。「おきプロNEXT」にも参加した20代の青年

「職場、そして県内の仲間と一つになつてたかたかな攻撃をはね返すことはできない。そのために、



昇給、昇格などについて学習

疑問が出てくるので、まずは知ることが大事だと感想が寄せられています。県本部では今後各職初心者向け学習会を計画していきます。

憲法を生かし住民生活を守る自治体へ 安倍政権の暴走をストップさせよう

自治労連第36回定期大会

自治労連第36回定期大会が8月24日～26日にかけて、京都市内のみやこめつせで開催されました。野村中央執行委員長が「住民のために良い仕事をしたという思いを共有しよう。戦争する国づくりを許さず、職場から地域から共同を広げ、暴走する

を生きし住民生活を守る」特別な任務の実践を確信にさらに運動をすすめる「う」などの大会方針を採択しました。

代議員(名古屋市職労)「保育園の民間委託攻撃に対し保護者の声を集める」「一言メッセージ大作戦」で、住民は委託を望んでいないことを痛感。住民の願いに沿った仕事ができる市政にするため、仲間を増やして運動をすすめる」。

林達也代議員(県本部)「安倍暴走政治に労働組合がノーの声を上げることが求められている。春闘の賃上げも不十分、14人勤は生活改善どころか『総合的見直し』による賃下げ勧告。要求実現のため、組織拡大で攻撃をはね返し、職場・地域から運動をすすめていく」と4人が発言しました。

職場・地域から 共同の運動を

討論では全国から集まった代議員が3日間にわたり積極的に発言。愛知からは、内藤詠美子代議員(豊橋市職労)「増減員調査票(分会用)と人員要求アンケート(組合員用)の回答から職場の悲鳴が聞こえてきた。がんばる職員の息が切れる前に、安心して働き続けられる職場をみんなで作る。市江弥生代議員(清須市職労)「おきプロNEXT」で、青年には仕事の話ができる機会が大切と実感。青年自治研企画を計画しており、学んで、楽しんで、つながりを実感できるものになりたい」。稲場美紗子



↑京都市内で行われた自治労連第36回定期大会
うちわを大きく上げて発言を求めるあいちの仲間

言いたい劇場



セット共済 安く安心
掛金 1820円/月 → 病気入院 5000円/日
自治労連



豊橋(左)と名古屋(右)の一騎打ち

大きな声で元気いっぱいプレイ 県本部第36回バレーボール大会

8月30日、第36回県本部バレーボール大会が愛西市の佐織体育館で開催されました。



「おきプロNEXT」に集まったあいちの仲間

実行委員募集中

組台事務所を通して県本部まで連絡してね

職場、単組の垣根をこえる青年のつながりが生まれた「おきプロNEXT」の開催から約3ヶ月が経過。県本部はこのつながりの実感を単組・職場にさらに広げ、青年にとって働きがいある職場づくりにとりくもうと、新たな青年集会に向けて動き始めました。9月1日、県本部青年企画「クリ☆スパ」第1回実行委員会が開催され、7単組から12名が参加。今年の冬に予定されている青年企画について意見を交わしました。実行委員会では名称「クリ☆スパ」、日程「12月13日～14日」、規模「100名」など概要を決定。今後は企画のメインとなる学習と交流の内容について議論を交わしていく予定です。

※「クリ☆スパ」実行委員会では各単組から実行委員を募集中!

県本部青年企画「クリ☆スパ」始動!

おきプロNEXTは序章に過ぎなかった...

9月集会 スケジュール

沖繩知事選挙学習会
とき 9月13日(土) 14時
ところ 金山・労働会館

原発ゼロ名古屋アクション
とき 9月21日(日) 14時
ところ 名古屋市・白川公園

秘密保護法反対集会
とき 9月23日(火・祝) 14時
ところ 名古屋市・若宮広場

第18回小牧平和県民集会
とき 9月28日(日) 13時15分
ところ 小牧市・市之久田中央公園

「許すな!集团的自衛権。生かそう平和憲法。日米安保強化に反対しよう!」

単組定期大会 役員紹介

- 豊川市病職労(8月28日)
執行委員長 中村 貴博
副執行委員長 平原 龍次
書記 長 松尾 史子
書記 長 横井 良乃
書記 次長 佐賀 達也
- 蒲郡市職(8月28日)
執行委員長 山本 和正
副執行委員長 中根 徳男
書記 長 竹下 秀和
書記 次長 石川 雄策
- 宮田用水労(8月28日)
執行委員長 國立 正司
- 岩倉市職(8月29日)
執行委員長 佐久間喜代彦
副執行委員長 小川 薫
書記 長 岡 茂雄
書記 次長 片桐 慎治
- 清須市職労(9月2日)
執行委員長 村上小百合
副執行委員長 野村志保里
書記 長 犬飼 彩乃